

時代とバトルだ！
 二二歳の天才オーストン・ウエルズが
 仕掛けた「奇跡の一夜」

歌え！踊れ！立ち上がれ！



クレイドル・ウィル・ロツク

A HADRIE PRODUCTION. A TIM ROBBINS FILM. "CRADLE WILL ROCK" HANK AZARIA RUBEK BLADES JOHN CUSACK JOHN CUSACK CARY ELWES PHILIP BAKER HALL CHERRY JONES ANGUS MACFADYEN BILL MURRAY VANESSA REDGRIVE SASHA SERRANO JOHN TURTURRO EMILY WATSON CASTING BY DOUGLAS HIDEI MUSIC BY DAVID HORNIS COSTUMES DESIGNED BY ANNE MEYERS EDITED BY GERALDINE PERONI PRODUCTION DESIGNER RICHARD HODDER DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY JEAN YVES ESCOFFIER EXECUTIVE PRODUCERS LOUISE KRAKOWER FRANK BECHAM ALAN NICHOLS PRODUCED BY JOE HILL LYDIA DEAN PILCHER TIM ROBBINS WRITTEN AND DIRECTED BY TIM ROBBINS THIS FILM IS RATED R.

『ポップ・ロバーツ』『デッドマン・ウォーキング』
 監督・脚本・製作 | ティム・ロビンズ

※1999年第52回カンヌ国際映画祭コンペティション正式出品作品 1999年ナショナル・ボード・オブ・レビュー ベスト10/スペシャル・フィルムメイキング・アチーブメント
 ハンク・アザリア、ルーベン・ブラデス、ジョン・キューザック、ジョン・キューザック、ケアリー・エルウィズ、
 アンガス・マクファデン、ビル・マレー、ヴァネッサ・レッドグレイヴ、スーザン・サランドン、ジョン・タートウーロ、エミリー・ワトソン
 1999年アメリカ・ヘイブック作品/協賛 | ANA / 提供 | アスミック・エースエンタテインメント、角川書店/配給 | アスミック・エース 監製 | RPP



「市民ケーン」の4年前 22歳の天才オーソン・ウェルズが 世界を最初に騒がせた ——その名もクレイドル・ウィル・ロック事件

「デッドマン・ウォーキング」で世界を感動させたティム・ロビンスが、メキシコ美術界のカリスマ、ディエゴ・リベラ、フリーダ・カーロ、大富豪ロックフェラー、新聞王ハーストラ在の有名人を豪華なキャスティングで鮮やかに甦らせた一大エンタテインメント!

窮屈な時代を引っかき回せ! 20世紀最大のお騒がせ屋 ウェルズの燃えるアーティスト魂

1937年ニューヨーク。アメリカ社会は大恐慌のまっただ中。資本家たちがメディアも芸術も耳貸していた。そんな時代だからこそ、世の中をびっくりさせる意味がある。スベクタクルの仕掛人は22歳の青年オーソン・ウェルズ。早熟の天才は、とんでもなく過激なミュージカルの上演の準備を着々と進めていた。芝居の名は『クレイドル・ウィル・ロック(ゆりかごは揺れる)』。ウェルズが目指すのは「しかるべき人々すべての頭を沸騰させること、それがショービジネスの仕事だ!」ウェルズのもくろみ通り『クレイドル』は準備中から大騒ぎを巻き起こす。折しもワシントンの政界では、ルーズベルト大統領と、頭の固い保守派の共和党が激しく衝突。「クレイドル」は連邦政府出資の“フェデラル劇場計画”の企画だったため、政争のターゲットに。初日前夜、政府は上演を禁止。だがそれで黙っているのはアーティスト魂がさたる。ウェルズと仲間たちはそんな役人側の圧力の裏をかく秘策を実行に移す。そして1937年6月16日のブロードウェイで、奇跡の一夜が始まる。ウェルズ自身の予想すらもはるかに越えた熱くパワフルな感動がニューヨークの街を駆けめぐったのだ。



オーソン・ウェルズと言えば『市民ケーン』でハリウッドを驚愕させた人物、というよりも20世紀最高の挑発の鬼才、ハタリ屋、トリックスター、観客の心をつかんでエモーションのジェットコースターで引きずり回すパフォーマンスの魔術師だ。1938年4月1日エイプリル・フールに彼が演出・主演したラジオドラマ『宇宙戦争』は、アメリカ中が本物のニュースと勘違いし、大パニックになった。『クレイドル』上演はこのラジオ放送の前年、ウェルズが世界を騒がせた最初の事件。

20世紀カルチャーの セレブリティが巻き起こす 本当にあった物語

当時のニューヨークはまさに20世紀のアートとカルチャーの揺りかごだった。この映画に登場するのは、ウェルズとその

劇団の人々、共産主義者でゲイの劇作家・作曲家マーク・ブルリッス・スタイン、今世紀最大の劇作家ベルトルト・ブレヒト、メキシコ美術界のカリスマ、ディエゴ・リベラ、彼の妻である情熱の画家フリーダ・カーロら。

さらに『市民ケーン』のモデルにされてウェルズと派手なメディア戦争を繰り広げることになる新聞王ハーストと、彼の愛人で女優のマリオン・テイヴィス、アメリカを代表する大富豪一族の御曹司ネルソン・ロックフェラー・セレブリティから、ウェルズを強力に支持した“フェデラル劇場計画”のハリ・フランナガン女史、イタリアの独裁者ムッソリーニのアメリカ文化特使として暗躍したマルゲリータ・サルファティ女史といったフィクサーまで、普通の映画なら五本ぶんは作れそうな大群像がこの一本に盛りだくさんに登場する。

笑って泣けて感動する。 ティム・ロビンス監督最新作

監督は、ウェルズと同じく俳優として同じく世間を騒がせるのが大好きなティム・ロビンス。『デッドマン・ウォーキング』で世界を感動させたロビンスだが、今回はアカデミー賞授賞式で政府批判のスピーチをやって出入り禁止を食らった前科もある反逆児ならではのトリックスターぶりを全面に発揮している。

大不況の30年代アメリカだが、映画界はコメディ映画の黄金時代、ワード・ホークス、フランク・キャブラ、プレストン・スタージェス、エルンスト・ルビッチといった巨匠たちが腹を抱えて椅子から転げ落ちそうな傑作を連発していた。ロビンスはその笑いの精神を引き継ぐことで、実在の人物たちを生き生きと甦らせる。そしてかつてない最高の、興奮と感動のクライマックスを味わわせてくれるだろう。

奇跡の一夜を再現する、 奇跡のゴージャスなキャスト

ロビンスはこの豪華な登場人物たちを描くため、ハリウッドで最高の実力派スターを集めた。『マルコヴィッチの穴』のジョン・キューザックとその姉のジョン・キューザック(『イン・ザ・ランド・オブ・アウト』)、『奇跡の海』のエミリー・ワトソン、コメディアン

出身で『バードケージ』のハンク・アザリア、『アナザー・カンタリー』のケアリー・エルウィス、ウェルズ役で本人そっくりの大道力演技を見せるアンガス・マクファデンら、今ハリウッドで最高の若手実力派の面々が結集。そしてコーエン兄弟作品の常連で『パート・オブ・フィンク』でカンヌ映画祭主演男優賞のジョン・タトゥーロ、『ハワーズ・エンド』の女優ヴァネッサ・レッドグレイブ、そしてロビンスの公私にわたるパートナー、『デッドマン・ウォーキング』のスーザン・サランドンらベテラン勢。



さらに、ハバナ出身のラテン系ミュージシャンのルーベン・ブラデスがディエゴ・リベラ役で怪演を見せ、『ゴースト・バスターズ』シリーズの大コメディアン、ビル・マーレーが初老の腹話術師の悲哀を絶妙に演じ、涙を誘う。

CRADLE WILL ROCK

クレイドル・ ウィル・ロック



監督・製作・脚本|ティム・ロビンス『デッドマン・ウォーキング』『ボブ・ロバーツ』/
撮影|ジャン・イヴ・エスコフィエ『グッド・ウィル・ハンティング/旅立ち』『ボスマイフの恋人』/
音楽|デイヴィッド・ロビンス『デッドマン・ウォーキング』/衣装デザイン|ルース・マイヤース[L.A.コンフィデンシャル]/
編集|ジェラルディン・ペロニ『ショート・カット』/美術|リチャード・フーバー『デッドマン・ウォーキング』/
出演|エミリー・ワトソン/スーザン・サランドン/ジョン・キューザック/ヴァネッサ・レッドグレイブ/ジョン・タトゥーロ/
ジョン・キューザック/ビル・マーレー/ハンク・アザリア/フィリップ・ベイカー・ホール/ルーベン・ブラデス/アンガス・マクファデン
1999年アメリカ/ハイウォック作品/カラ/2時間14分/ドルビー・デジタル/スコープサイズ/
日本語版字幕|松浦美奈/監訳|ANA/提供|アスミック・エース エンタテインメント、角川書店/配給|アスミック・エース 

10月21日(土)よりロードショー!! (上映終了日は劇場に お問合せ下さい。)

前売鑑賞券1,500円好評発売中! (当日一般 1,800円)の処

劇場窓口、チケットぴあ、ローソンチケット、各PGにて発売中!

劇場窓口でお買い上げの方にポストカード・プレゼント! (限定数)

梅田スカイビルタワーイースト4F 06(6440)5977

梅田 ガーデンシネマ

連日 10:30 1:10 3:50 6:30 (入替制)



http://www.cineplex.co.jp